

令和 6 年度
(2 0 2 4 年度)
事 業 報 告 書

社会福祉法人 にちはら福祉会
特別養護老人ホーム 「星の里」
(介護予防) 短期入所生活介護事業所 「星の里」
にちはらデイサービスセンター
障がい福祉サービス 短期入所事業所 「星の里」

島根県鹿足郡津和野町日原 5 0 番地 2

T E L (0856) 74-0026

F A X (0856) 74-0027

e-mail hukuhosi@sun-net.jp

にちはら福祉会

基 本 理 念

☆常に笑顔大切に

私たちは、利用者の尊厳を守り、常に快適に過ごせるサービスの提供と、生活の質の向上に努める。

☆利用者に接する心を大切に

私たちは、人生の先輩として、敬愛の念を持ち、温かい言葉と謙虚な態度で介護の提供に努める。

☆学ぶ姿勢を大切に

私たちは、利用者の方から常に学び、目配り、気配り、声かけができる姿勢を大切にし、自己研鑽に努める。

☆家庭や地域とのつながりを大切に

家庭や地域との連携を図り、信頼関係を深めるとともに、地域社会に支えられた施設づくり、在宅福祉や地域福祉の充実に貢献する。

運 営 方 針

- 1) 健康と機能回復に意欲的に取り組む環境づくりに努める。
- 2) 個々のニーズに応じた質の高いケアをめざす。
- 3) 職員の研修充実と積極的な意見提案に努め、施設の活性化を図る。
- 4) 職場における人間関係を尊重し、明るく、いきいきとした職場づくりに努める。
- 5) コスト意識を持ち、経営の安定と安心安全な施設作りを目指す。
- 6) 関係機関との連携と役職員一体となった活力ある健全な施設を努める。

介護の基本方針

- 1) 人の命を大切にし、利用者の尊厳を守る。
- 2) 利用者、家族、職員が情報を共有し、コミュニケーションを図り、信頼関係を深める。
- 3) 誠実で謙虚な態度と温かい言葉で接し、報告、連絡、相談（ほうれんそう）の徹底に努め、利用者の目線で質の高いサービスを提供する。
- 4) 研修に努め、自らの技術を高めるとともに、常に笑顔を忘れず和を持って明るい職場づくりに努める。

信頼されるために

I 機能の向上

① 事業への（再）投資など

《事業の用に供する物品の更新、導入》

介護サービスを利用される方にとってより利用していただきやすくするために、また、地域社会からいっそうの信頼をいただくために事業所の機能向上に努めました。

事業所の機能性を向上させるために（維持するために）下記の事業の用に供する物品の更新または導入を図りました。

拠点	品目	数量	備考
星の里	業務用コンピュータ	2	
星の里	業務用洗濯機	1	
星の里	清拭車	1	清拭用タオルの保温・保湿管理
星の里	U T M	5 年	ネットセキュリティ監視システム
星の里	廊下、居室、食堂、事務室 空調ユニット	4	空調システムの不具合
星の里	介護用ベッド	1	
星の里	食器類	1 式	
星の里	報知装置（センサーマット）	1	徘徊用マット
星の里	ポータブルトイレ	3	
星の里	ナースコール用 P H S	1	
星の里	介助バー	4	
星の里	歩行車	1	
星の里	自走用車いす	2	
星の里	炊飯ジャー	1	
星の里	加湿器	5	
デイ	業務用コンピュータ	2	
デイ	コップ	23	
デイ	電動ポット	1	

WINDOWS10 延長サポート期間の終了に伴い、同 OS 搭載のコンピュータのうち半数を WINDOWS11 搭載モデルへと令和 6 年度に更新しています。

令和 6 年度事業計画に記載があった、介護用ベッド、車いす、食器類、報知装置については無事年度内に補充、更新が終了しました。

その他、空調システムはユニットの不調のために代替、業務用洗濯機、ナースコール用PHSは経年劣化、故障のため使用不能になりましたので適宜更新しています。

UTMはネットワークシステムの出入り口に設置している監視装置です。使用期限が満了したため、更新することでネットセキュリティの質を維持しています。

事業の用に供する物品はキャッシュフローに配慮した上で、ほんとうに必要なものを更新しています。また、全体的な老朽化が進んでいることから修繕費支出が嵩む傾向にあります。今後も計画的な更新・代替を行うことで修繕費支出の拡大を防ぐことは必要です。

《機器の保守》

令和6年度事業計画に記載のある事業運営に必要な機器等の保守のため、下記について保守契約を交わし専門的なメンテナンスを実施しました。

電気設備	中国電気保安協会
厨房器具（冷凍冷蔵庫）	(株)ホシザキ
ランドリー機器	ダイワコーポレーション
コンピュータ関係	(株)浜田コンピュータシステム
カラー複合機	(株)ミック
水道設備、空調設備	角田工業(株)
消防設備点検	和幸電通(株)

消防設備については年2回の設備点検を受検しており、自動火災報知設備及び誘導灯のバッテリー不足が指摘されたため、交換修理を予定しています。

《館内及び外周清掃、送迎用車両清掃》

館内及び外周の清掃及び草抜きなどについて、平時は美化委員会を中心に環境整備を行いました。また、年度末には大掃除を専門業者に委託して実施しております。

送迎用車両の清掃、館内の網戸張り替えを社会福祉法人つわの清流会が運営する就労継続支援B型事業所に委託して実施しております。車いす清掃もお願いしましたが、令和6年度は実施しませんでした。

《リスク対応》

○感染症対策用品として下記の物品を補充、更新しました。

アルコール除菌剤	島根さんれい 他
泡ハンドソープ	岩多屋 他
除菌漂白剤	広和商事 他
衛生管理用バケツ	ジュンテンドー

使い捨てポリガウン	島根県、アスクル 他
殺菌灯	A I H O 山口
感染症検査キット	島根県
マスク	島根県

○災害用備蓄食品として下記を保存しています。(令和 7 年 3 月 31 日現在)

備蓄食品名	単価	数量	金額(円)	賞味期限
さひめの泉	@1,300	5	6,500	
保存水	@220	24	5,280	令和 8 年 2 月 21 日
保存水	@220	60	13,200	令和 8 年 5 月 18 日
保存水	@220	48	10,560	令和 8 年 12 月 19 日
保存水	@220	72	15,840	令和 9 年 3 月 23 日
おかゆ	@224	50	12,096	令和 11 年 12 月 31 日
白飯	@207	50	10,368	令和 11 年 8 月 31 日
白飯	@207	50	10,368	令和 12 年 2 月 28 日
白飯	@207	50	10,368	令和 12 年 3 月 31 日
野菜カレー	@171	90	15,390	令和 9 年 10 月 9 日
みそ汁	@70.2	100	7,020	令和 9 年 1 月 31 日
牛丼	@459	24	11,016	令和 9 年 9 月 27 日
牛丼	@132	24	3,168	令和 7 年 10 月 20 日
みそ汁	@70.2	150	10,530	令和 8 年 6 月 30 日
ミキサー粥	@310	100	31,000	令和 9 年 4 月 30 日
ミキサー粥	@379	50	18,954	令和 10 年 7 月 31 日
ミキサー粥	@379	100	37,908	令和 10 年 12 月 31 日
白飯	@184	100	18,400	令和 7 年 9 月 1 日
照り焼きチキンミキサー	@145.8	48	6,998	令和 7 年 10 月 16 日
鶏肉のトマト煮ミキサー	@145.8	48	6,998	令和 7 年 10 月 25 日
豚肉柔らか煮ミキサー	@145.8	48	6,998	令和 7 年 11 月 24 日
サバの味噌煮ミキサー	@145.8	24	3,499	令和 7 年 10 月 2 日
			272,459	

総額 272,459 円の備蓄用食材を保存しています。ただし、緊急停電時に保存水 6 本、サバの味噌煮ミキサー 24 食を使用したため一部不足が生じており、補充予定となっています。

○万一の事態に備えて民間の損害保険、自動車共済等に参加しています。

保険（共済）種類	内容	引受先
賠償責任保険	施設サービス、通所サービス	あいおいニッセイ同和損保
自動車共済	島根 800 さ 7848 など 6 台分	J A 共済
火災保険	R3.5.2～R8.5.2 まで	あいおいニッセイ同和損保
社会福祉施設従事者相互保険	職員の不慮の事故等	社会福祉振興試験センター

○定期的なBCPの見直しを行いました。

災害用BCP	危機管理部会、委員会
感染症対策BCP	感染症対策委員会

各BCPについて、危機管理部会、委員会及び感染症対策委員会により見直しが図られています。

《広報活動、情報提供》

下記のツールあるいは活動を通じて広報活動、情報提供を行いました。

法人ホームページ	定款、役員等名簿、計算書類、R5 年度事業報告、R6 年度事業計画、苦情受付状況、法人の方針、求人情報 等
島根県財務諸表等電子開示システム	現況報告書、計算書類
介護サービス情報の公表システム	特別養護老人ホーム星の里、（介護予防）短期入所生活介護事業所星の里、にちはらデイサービスセンター 介護サービス事業者の経営情報データベース
広報誌 て to て （にちはら福祉会通信）	身近な事業情報の発信 等

令和 6 年度は広報誌をリニューアルし、より地域に対して開かれた事業所を目指して地域住民及びステークホルダーに配布しました。

《部門別目標管理》

1年間、各部門、各部署において目標を設定し、目標管理を実行しました。事業計画に則って、各部署会議と主任者会議を往復することで進捗を図ってきました。

部門・部署	目標と進捗状況	評価
事務室	目標：「情報の取扱機能を高める」 書類の廃棄処分について：1箱の処分を実施。書類廃棄のプロセスを把握した。 契約書と利用者のファイル整理について：1冊にまとめるべく整理を進めている。 目標の振り返り：書類の整理整頓が進み、検索が容易になった。	書類の整理により生産性の向上が図られた。個人情報や特定個人情報の取扱については、より繊細な取扱が求められる。一步一步地道に知見を磨くことが求められる。
医務室	目標：「皆さんへの毎日の声掛けを行う。笑顔で過ごしていただく」 「報連相を徹底する。」 目標の振り返り：目標に対する指標が判然としないため、達成評価が明確にできないなどの意見があった。	指標で計測できない目標に取り組んだ。明確な達成基準がないため一部のスタッフにとって、取組があいまいとなったとのことだが、確実にレベルアップしたスタッフもいた。
介護室	目標：限りある人数の中で有効的な業務改善を図る。 目標の振り返り：夜間勤務体制の組み換えを行った。夜勤を含め、全勤務体制における業務配分等を見直した。 昼食前のレクリエーションに積極的に取り組んだ	夜勤体制の組み換えについては、より継続性が高い形に変更した。そのとき、そのときで正しさは変わるため、従前を見直す対策できたことは大きい。生産性と事業継続性の向上に資する改善ができた。
厨房	目標：通常業務における属人性の排除、是正を図る。 目標の振り返り：ケアレスミスが減少するなど、年間を通じていくらかの改善はあった。しかしながら、計画性や一貫性に欠ける部分があり、方向性が右往左往した感がある。	スタッフ個々の技量や技能に差が大きい場合は、熟練度に由来する属人性をどのように解消していくかがテーマとなるはずである。全体的な方向性にブレは見られたものの、ステアリングコミットィを経ることで一貫性を調整した。

デイサービス	目標：利用者に楽しんでいただける環境づくり 目標の振り返り：おやつ作りの満足度調査を行い利用者の声を反映したレクリエーションの展開に努めた。 通所サービスを利用することで利用者が少しでも、楽しみややりがいを感じられる事業所づくりに励んだ。 スタッフのレクリエーションに対する意識が大きく変わった。	レクリエーションの意義を腑に落として、取組に深みを与えることができた。単に楽しんでもらえればよいというものからエンパワメント支援まで視野に入れた取組ができた。これは支援者の支援観を大きく広げるものであった。利用者からも概ね好評であった。
本部事務局	目標：法人内のガバナンスとコンプライアンスの強化 法人統合の検討の場と組織への橋渡し 目標の振り返り：諸規則の改廃については、さいう事務所のサポートもあって、必要なものの80%程度は実施できた。 統合に関する協議へは出席し、意見陳述を行った。公開可能な情報の共有も比較的实施できた。	コンプライアンスを強化するため、会議などの席上で規則、規程、規範の説明を行ってきた。 組織内におけるルールへの関心のなさ、知識情報の不足である。自分たちがどんな枠の中で業務を行っているのかを知らなくとも通れてきたという不安定性を解消することは向後の目標の一つだと思う。

各部門別に目標を掲げて、その達成に向けて取り組んできたことは一定の効果があったものと思われます。全職員が目標達成に対し積極的に取り組んだわけではありませんが、積極的に取り組んだ職員のなかには、明らかに良い変化が見られた職員もおります。目標の達成において、顕著な貢献や良い変化が認められた職員には、目標達成報奨金を支給しました。今後も、現在置かれている状況に常に気を配って、良い点は踏襲しながらも新たな業務改善に向けて取り組むことは続けていくべきです。

《5S活動の推奨》

美化委員会を中心に館内外の整理・整頓・清掃・清潔・躰の向上を実践すべく取組を進めてきました。美化委員会の計画によって部署別、月別の取組が実施されましたが、取組に協力する部署と協力しない部署、協力する職員と協力しない職員に分かれる結果となりました。

結局は、計画がずさんであったことがもっとも大きな原因であったと考えています。委員長、副委員長による目的や方針の理解も不十分であり、それを指導できなかったことは反省材料です。取組の意図や意義を周知する工夫を図る必要があることと、活動が行き詰まったときに適切に指導を加える必要があります。

② 人材への（再）投資など

《人材の確保》

人材を確保するため、人材紹介規程の運用をはじめ事業計画に記載された取組を実施してきました。

また、ハローワーク、ホームページには年間通じて募集を出している状況であり、季節をみてケーブル放送にも求人広告を掲載しています。（年末年始、盆休み、4～5月の連休等）

入退職の状況は下表のとおり、延べ人数で入職者8人対して退職者12人になります。

職員の入退職の状況

（1）職種・雇用形態別

	職種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入職	常勤 介護	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	パート 介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	常勤 看護	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	パート 看護	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	常勤 その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	パート その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	4	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	8
退職	常勤 介護	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	4
	パート 介護	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	常勤 看護	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	パート 看護	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	常勤 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	パート その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	3	0	0	2	0	0	1	1	0	0	4	12

※常勤：正規職員及び1か月に正規職員と同等の時間を勤務する有期雇用職員

パート：1か月に常勤者よりも勤務時間数が少ない有期雇用職員

全入職者8人のうち、外国人技能実習生が2人。したがって、実質的に6人が入職しています。常勤介護職員を2人採用したものの、年度内にその2人とも退職しています。一方、全退職者12人のうち、

介護職員の退職者数が常勤・パート合計して 8 人となりました。これは全退職者のうち 66.7%を占めています。

(2) 年齢別

	年齢	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
入職	～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～29	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	～39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～59	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	～69	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
	70～	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	計	4	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	8
退職	～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	～39	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	～49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	～59	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	～69	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	70～	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	4
	計	1	3	0	0	2	0	0	1	1	0	0	4	12

20 歳代の入職者のうち、2 人は外国人技能実習生です。それ以外で 1 人入職したものの、年度内に退職しています。50 歳代の入職者も 1 人おりますが、この者も年度内に退職しています。したがって、この職場に定着しているのは外国人技能実習生を除けば、60 歳代～70 歳代のみということになります。一方、退職者については高齢労働者（60 歳代～70 歳代）が 12 人中 7 人と目立ちます。これは、家族の介護や看護などの家庭内ケア、アンペイドワークに従事するためという理由によるものが多いという結果となっています。

この法人においては労働者個々の特性を踏まえた上で、70 歳までは十分に労働に従事できる年齢として捉え、配置や勤務形態など必要な配慮をしながらも、健康に働いていただきたいと思います。それは、この地域で同様の事業を継続するための条件であると考えています。

(3) 雇入れの経緯

項目	人数	備考
ハローワーク経由	3	ハローワーク益田
職員紹介（働きかけ）	2	
役員紹介（働きかけ）	2	施設長の働きかけによる
その他紹介（働きかけ）	3	外国人技能実習生監理団体及び退職者の紹介
ホームページ経由	0	過去採用実績なし
ケーブル放送経由	0	過去採用実績なし
実習受入れ、アルバイト受入れ	1	ホームケア実習生
チラシを見て	0	過去採用実績 1 件

※項目の重複があります

ホームページやケーブル放送のツールを見て、入職に至るケースは過去 10 年間で 0 件です。求人チラシを見て入職に至ったケースは過去 10 年間で 1 件。一方、実習受入れやアルバイト受入れが採用につながるケースは過去 10 年間で 5 件あります。職場を知ってもらうことが入職に至るきっかけになることは多いため、要望があれば、それらは積極的に受け入れるべきです。また、職員の紹介によって採用につながるケースは、これまでも平均で年間に 1～2 件程度はありましたので、職員への呼びかけ、あるいは役員への呼びかけも継続的に実施する価値はあります。

(4) 退職理由

項目	人数	備考
賃金上の理由	0	過去に同様の退職理由なし
休日・休憩等の理由	0	
その他労働条件上の理由	0	
やりがいがない・自分の力を活かせない	0	
業務内容が思っていた仕事と違う	1	想像した業務と違う
職場の風土や雰囲気が合わない	0	
別の職種に挑戦したい	1	他の専門職に挑戦したい
人間関係	2	上司と折り合いが悪い
家庭の事情	4	家族の看護や介護。育児や孫守りなど
結婚・転居	1	結婚予定である
健康上の理由	1	身体、精神上の問題
その他	4	期間満了、住宅ローン返済や子育てが終了したなど

※項目の重複があります

家族の介護や看護などに従事するために退職に至るというケースがもっとも目立ちます。以前に同様の理由で退職した職員のなかには家庭内ケアが一段落ついたからということで、もう一回働きたいと申し出る者も出てきています。改めて、退職者それぞれの個別の理由を確認しました。いずれもやむを得ない理由によるものか、そもそも慰留すべきでないケースであったと認識しています。

《法定の研修、訓練の実施》

○研修

法定の研修についてはWEB動画研修（ジョブメドレー）で対応しました。WEB動画研修の受講状況は以下のとおりです。

科目	人数（完了者数）	備考
排泄・入浴・食事介助の基本	12/14 人	技能実習生 2 人を除く全員が完了
感染症及び災害に係る業務継続計画のための研修	24/28 人	技能実習生 2 人及び退職者 2 名を除く全員が完了
身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修（1）	24/28 人	技能実習生 2 人及び退職者 2 名を除く全員が完了
感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する研修（1）	24/28 人	技能実習生 2 人及び退職者 2 名を除く全員が完了
事故発生又は再発防止に関する研修（1）	24/28 人	技能実習生 2 人及び退職者 2 名を除く全員が完了
感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する研修（2）	24/28 人	技能実習生 2 人及び退職者 2 名を除く全員が完了
身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修（2）	24/28 人	技能実習生 2 人及び退職者 2 名を除く全員が完了
事故発生又は再発防止に関する研修（2）	24/28 人	技能実習生 2 人及び退職者 2 名を除く全員が完了

（認知症介護基礎研修 e ラーニング）

科目	対象者数	完了者数
認知症介護基礎研修 e ラーニング	5 人	1 人

WEB動画研修（ジョブメドレー）について外国人技能実習生は実施できませんでした。専門用語を含んだ日本語の理解が難しかったことと、研修受講自体への甘えがあったことが原因であると考えています。また、3月末に退職した正規職員3名のうち1名はすべての研修を完了させましたが、残り2名は途

中でモチベーションを低下させたためか完了できていません。

一方、認知症介護基礎研修 e ラーニングについては、技能実習生は上記と同様の理由で完了できていません。完了できていない残りの者についてはスマートフォンを保有していないなど、インターネットを使いこなす基本的スキルが不足していることが理由で完了できていないと考えています。

これからは、インターネットリテラシーが十分でない者や自宅にインターネット環境が整っていない者に対する受講を勧奨するためにも、タブレット端末の追加導入、インターネット接続環境の提供などを進めるべきだと考えています。

○訓練

消防避難訓練、感染症まん延防止訓練、口腔衛生訓練を実施しています。

	日時/人数	その他（指導者、立会者等）
消防避難訓練	10月24日 14:15～ 7名	日原消防分遣所 津和野町担当者
消防避難訓練	3月18日 10:45～ 10名	日原消防分遣所 津和野町担当者
口腔衛生訓練	10月24日 18:00～ 9名	永田歯科医院
口腔衛生訓練	3月26日 18:00～ 3名	永田歯科医院
感染症まん延防止訓練	11月1日 18:00～ 8名	感染症対策委員会
感染症まん延防止訓練	—	中止

規則上で、各訓練について年間2回の実施が義務付けられています。結果は感染症まん延防止訓練が1回しかできませんでした。その理由は退職予定の職員が年休を取得し、あるいは欠勤し、職員の配置が難しくなったためです。

それ以外の訓練については実施し、記録を保管しています。

《法定外研修》

法人独自で、以下のとおり法定外の研修を展開しました。

科目	開催日	その他（指導者、立会者等）
組織強化研修（マネジメント強化研修）	5月18日、7月13日、9月21日、11月16日、1月18日、3月15日 3名	ASTER-A 中澤博之
組織強化研修（パフォーマンス向上研修）	6月17日、10月21日、12月16日、2月17日、3月8日、（4月14日、5月12日） 3名	ASTER-A 中澤博之
全体研修	6月28日 29名	虐待防止研修、他者理解、人権意識向上
全体研修	12月20日 23名	虐待防止研修、信頼関係、エンパワメント、人権意識向上

組織強化プロジェクトの一環として、2種類の組織強化研修を実施しました。①マネジメント強化研修は主任格にあたる職員が受講し、リーダーとして組織を円滑に機能させるさまざまな知識、情報、考え方を学びました。②パフォーマンス向上研修は、組織の中でフォロワーが自らの役割をどのように果たしていくべきかという学びを深めました。

また、役職員全員を対象とする全体研修を2回開催しました。役員と一般職員が顔を合わす貴重な機会として位置付けながら、人権や尊厳にかかる学びを深めました。

《資格取得の奨励と支援》

介護支援専門員実務者研修受講試験受験者1名中合格者1名。

防災士試験受験者1名中合格者1名。

日本語能力検定N3受験者1名中合格者1名。

日本語能力検定N2受験者1名中合格者1名。

規定に則り、介護支援専門員実務者研修受講試験合格者に対して、資格取得報償金30,000円を支給しました。介護支援専門員実務者研修受講試験については過去5年間で2人目の合格者となります。これは、事業（星の里）運営のための必須資格となりますので、これからも積極的に受験するよう職員に対して働きかける必要があります。

《労働衛生管理》

下表の労働衛生活動を実施しました。法令による定めがあるものと定めがないものがありますが、いずれもこの法人の職員に長く健康に働いていただけることを前提として考えています。

項目	内容	備考
定期健康診断、特定業務従事者健康診断	法定対象者全員が受診	津和野共存病院
ストレスチェック	法定対象者全員が受診	寺井医院
筋力トレーニング活動	延べ21名が参加	
採用時の労働衛生教育	技能実習生対象に実施	
年休取得状況確認	法定対象者全員に年間5日の年休取得	
労災事故確認	1件の労災事故発生、休業なし、診療あり	
健康測定機器レンタル	血管年齢測定器のレンタル	協会けんぽ
特定保健指導の活用	対象者に奨励	協会けんぽ
姿勢とストレッチ体験講座	希望者10名が体験	あゆみ整骨院
整体施術補助	延べ35名が利用	あゆみ整骨院

年休については取得させなければならない職員（年間10日以上之年休付与がある者）に対して、年間5日以上取得をしてもらいました。

姿勢とストレッチ体験講座には10名が参加されました。参加者からは次回の開催を希望する声も聞か

れています。

整体施術補助制度は年間通じて 35 名が利用しました。

非常に軽微ではあるものの、労災事故が 1 件発生しています。（ストレッチャーの可動部に指を挟み、皮膚剥離をおこしたものの。2 回程度の病院受診で労災保険の療養補償給付で処理しています。）

また、計画にはスポーツ活動への参加もありましたが、未実施に終わっています。

《福利厚生》

事業計画に則り、下表のとおり実施しました。

項目	内容	備考
各種規程の見直し	就業規則本則の変更 育児介護休暇規則の変更 給与規程の変更 等	労働条件の改善を図りました。
館内フリーWifi 環境の整備	館内のほぼ全域にわたり、Wifi 環境を整備。職員の自由利用のために開放しています。	利用者にも開放することで、利用者のQ O L の向上に資する取組。
休日数の増加	常勤職員は R 5 年度に比べ 4 日間の休日増を実施。	R 7 年度は 4 日間の休日減となる見込です。
飲料水の提供	ウォーターサーバーをレンタルし、職員による自由利用。	さひめの泉。

令和6年度時間外手当支給状況

【星の里】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
超勤	事務	876	1,792	7,311	3,656	0	0	0	914	1,857	929	5,570	1,857	24,762
	介護	44,329	62,135	45,714	24,761	10,551	20,536	13,104	15,454	62,049	46,446	42,698	70,220	457,997
	看護	1,910	0	0	2,770	0	8,143	0	0	0	22,267	10,339	4,136	53,641
	厨房	0	8,315	0	8,584	0	0	0	0	0	11,316	0	9,829	38,044
	警備	1,149	0	0	0	0	0	0	3,692	0	0	0	0	3,692
	臨時	16,374	31,524	31,014	30,422	1,552	4,102	12,042	7,676	37,231	48,667	57,376	44,744	322,724
超深	事務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,243	26,261	49,504
	看護	0	0	0	0	0	4,886	1,222	0	0	1,241	1,126	0	8,475
	厨房	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	警備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	臨時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		64,638	103,766	84,039	70,193	12,103	37,667	26,368	27,736	101,137	130,866	140,352	157,047	955,912

【デイ】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
超勤	生活	9,175	1,861	7,588	5,691	1,897	1,897	1,897	3,794	1,927	4,818	7,708	1,927	50,180
	介護	729	1,489	745	2,977	745	1,489	1,489	1,489	1,512	4,373	1,512	1,512	20,061
	看護	1,708	3,444	1,722	5,166	1,722	1,722	1,722	3,444	1,750	3,024	1,750	1,750	28,924
計		11,612	6,794	10,055	13,834	4,364	5,108	5,108	8,727	5,189	12,215	10,970	5,189	99,165

【パート】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
超勤	星里	0	8,005	10,663	3,351	0	4,732	4,086	4,086	0	6,793	2,650	2,633	46,999
	デイ	4,153	2,738	4,111	2,054	1,349	6,769	5,378	4,062	6,190	6,103	1,324	6,765	50,996
計		4,153	10,743	14,774	5,405	1,349	11,501	9,464	8,148	6,190	12,896	3,974	9,398	97,995

星の里常勤者 時間外合計 955,912 円 ① にちはらデイ常勤者 時間外合計 99,165 円 ②

パート 時間外合計 97,995 円 ③ 総合計①+②+③ =1,153,072 円

令和6年度の時間外手当は総額 1,153,072 円が発生しています。事業計画に掲げた会議や研修での支給のほか、看護職員については緊急時の対応などに要した費用が含まれます。また、介護職員については職員の急な休みや退職があった場合の補充を全介護職員で少しずつ補うことで対応しました。2月～3月にかけては複数の介護職員が突発的に日勤及び夜勤を欠勤したために、介護主任、副主任が調整し、全体で超過勤務を行うことで対応しましたので、この金額が必要になりました。

Ⅱ 誠実であるということ

① 丁寧な言葉づかいとあいさつの励行

施設長からの指導もあって、あいさつの質が向上した時期もありました。しかし、いまだ、他律的な働きかけがなければそれらがおろそかになる職員が多くいることも事実です。水準低下が見て取れた場合は、施設長から何度でも指導を繰り返しています。

② 嘘、偽りや自分にとって都合のよい解釈による言動を慎むこと

職員の「嘘をつかない、正直である」という水準は向上したものと考えています。また、統合関連の協議においては、公益性や公共性を第一に優先した自分本位の発言は行いませんでした。

③ 利用者の利益を優先するということ

利用者の声に真摯に耳を傾ける水準は上がってきたと評価しています。

④ 説明責任を果たすこと

支援に入る前の声掛けや説明を行う水準は上がっていると評価しています。多くのスタッフが支援の実践の一環として声掛けや説明ができるようになりました。

⑤ 内部統制の強化

・コンプライアンスの徹底

コンプライアンス違反に対する監視を行うことを目的にコンプライアンス室会議を企画しました。（月に1回）結局、参加者の法令や規範に対する知見が十分でなかったため、1年間かけて基準省令等の確認を行いました。私たちの業務がどのような建て付けの上に成り立っているかを知るための第一歩がルールを知ることだと思います。おそらく、多くの職員にとって私たちがどのような枠組みの中で仕事をしているのかは十分に理解が届いていないことと想定しています。今後も共通認識としてのルール周知は継続すべき取組だと認識しています。

・意思決定体制の明確化

事業所内の管理や意思決定については、施設長（所長）にその権限が委ねられています。以前は施設長の頭越しに職員が勝手な判断や決定を行うことが散見されましたが、それもあまり見られなくなってきたように評価しています。

《組織の改革》

労働者（介護の支え手）人口の減少によって、従前どおりの経営や業務内容を同じように繰り返すこと

で成果を得ることは著しく困難になっています。適切な生産性向上を図るための生産性向上プロジェクトチームを立ち上げ、業務の生産性向上の取組を緒につけました。

⑥ 褒めること指導すること

就業規則に基づいた賞罰（表彰と懲戒）は行いませんでした。自ら設定した目標に到達した者や資格を取得した者には報奨金を支給しています。

⑦ 諸規則の確認と追加・修正

下表のとおり、諸規則を改めています。すべて理事会の承認決議を得ています。

規則	内容	備考
運営規程（特養星の里、（予防）短期入所生活介護星の里、にちはらデイ）	職員の員数の変更について 居住費単価の変更について	職員体制の変更による 公定価格の変更による
定款	責任の一部免除又は責任限定契約について	島根県の指導による
経理規程	ファイナンスリース取引について	竹内事務所の助言による
臨時職員及びパートタイム職員就業規則の内規	日給単価の増額	61歳～64歳の常勤者 夜警員
給与規程	手当の増額 手当の対象範囲拡大	
資格取得報奨金支給規程	対象資格の追加	日本語能力検定の追加
特定個人情報管理規程	組織体制における担当者の削減	
庶務規程の変更	書類保存期限の変更	
就業規則	服務規律等の見直し	
育児介護休業等に関する規則	子の対象年齢変更など	法律の改正に伴う変更

就業規則の変更については事前に労使で協議を重ねることで円満な変更を行ってきました。

Ⅲ 継続性

リスクマネジメント

《感染症》

令和6年度内に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生しました。

8月の感染

【入所者の経過】

8/12	1人目の感染者
8/15	2人目の感染者
8/16	3人目の感染者
8/22	4人目、5人目の感染者
8/26	6人目、7人目の感染者
8/27	8人目、9人目、10人目の感染者
8/28	11人目、12人目の感染者
8/31	13人目の感染者
9/2	14人目の感染症
9/3	15人目の感染者
9/4	16人目の感染者
9/7	17人目の感染者

17人の感染者のうち6人の入院者が発生しました。8/12に最初の感染者が出てから9/14の隔離解除まで34日間で収束を迎えました。

【職員の感染状況】

8/10から9/3までの間、14名の感染者が発生しました。

2月の感染

【入所者の経過】

2/18	1人目の感染者
2/19	2人目、3人目の感染者
2/20	4人目の感染者
2/21	5人目の感染者
2/23	6人目の感染者

【職員の感染状況】

職員の感染者は発生しませんでした。

2度目の感染については、短期間（2/18～3/2）で収束しました。（13日間）感染者には本来の居室から離れ、別室にて隔離する等の対策をいち早く取ったおかげもあり早期の封じ込めに成功しました。

施設長と感染症対策委員長、委員が中心となり職員一丸となって対策を実行しています。

2月については、8月の経験を踏まえて感染拡大が防止できたことは収穫の一つであると評価しています。また、かなりの確率で現場に感染症を持ち込んだのは職員だと考えています。どれだけ注意していても感染症を持ち込まないことは非常に困難なことです、感染症を持ち込まないことがもっとも大切な対策であることもまた事実です。その後も、日頃から「持ち込まない、広げない」ことへの注意喚起を施設長から何度も行い、職員の意識も高まってきたのではないかと考えています。

《財務》

竹内会計の月次監査を受査しました。監査担当者の助言を仰ぎ、毎月の収支、損益、財産状況の確認を監査担当立会のもと行いました。理事長、施設長、事務局長、事務主任にて将来的な損益や収支予算執行の見立てをしっかりと行い、物品購入等にかかる支出についても漫然と承認決裁を為すことなく、購入担当者に対し根拠や理由の明示を義務づけるなど厳正に管理してきました。

また、毎月の経営状況については逐次定例主任者会議を通じ全職員に周知を図るなど透明性の向上に努めてきました。おそらく、近隣の社会福祉法人と比較しても財務管理（特に予算管理）については極めて厳格な扱いをしてきたと自負しています。

Ⅳ 社会への還元

① 地域住民と合同の消防訓練

10月と3月に消防訓練を行いました。地域住民（地元自治会）に対して参加を呼びかけ、10月は参加を得ることができましたが、3月は参加を得られませんでした。

② 複数法人間連携事業への参画

津和野町社会福祉協議会（津和野町社会福祉法人連絡協議会）が実施している生活困窮者に対する生活用品リサイクルネットワーク事業については、呼びかけがありませんでした。

③ 利用者負担軽減制度の実施

1名の利用者に対し、利用者負担軽減制度を実施しました。（ただし、期の途中で退所されました）

④ 自然災害発生時の被災地支援

自然災害被災地支援は特に行いませんでした。能登地震への募金を含めた義援金送金を令和6年2月に行っていますが令和5年度の期中であったため、それ以後は行っていません。

⑤ 更生保護事業への支援

にちはら福祉会から島根県保護観察協会へその趣旨に賛同し、10,000円の会費を納めました。また、職員有志数名より会費の協力をいただきました。

⑥ 就労継続支援事業所への外注

送迎用車両清掃、網戸の張り替えについて外注を行いました。車いす清掃については計画したものの、実施には至りませんでした。

連帯するために

I 連帯する『私たち』

① 『経営者』と『実践者』が交わる場

経営に携わる者と支援の実践に携わる者が互いに顔をあわせる健全な関係性づくりに努めました。全体研修においては、同じテーブルを囲み意見を交わし、学びを深めるとともに顔の見える関係性づくりを進めてきました。また、技能実習生や一般職員に対する差し入れやお歳暮をいただくなど、役員にいただいた配慮に職員一同感謝しています。2月には、職員によって役職員一体の懇親会が計画されましたが、感染症の流行によって中止されたのは残念なところです。

② 外国人技能実習生の受入れ

ミャンマーから2名の技能実習生を受け入れました。読む、書く、話す、聞くというレベルが非常に高い者たちであり、自分たちが果たすべき目的意識も明確です。実技レベルも同程度の経験を積んだ日本人と比べても遜色なく、毎日一生懸命頑張っています。実習期間終了後も引き続き、「ここで勤めたい」と思ってもらえる組織、事業所を作っていかなければならないと感じています。

③ 健全な労使関係の見直し

《労使懇談会》

毎月使用者と労働者の間で会談を行ってまいりました。経営状況を踏まえて、賞与の支給や就業規則の変更などの協議や、人員不足への対応、これからの労使関係のあり方、懇親会の開催まで幅広い内容に触れてまいりました。互いに嘘や偽り、駆け引きのない姿勢で真摯な対話ができただけだと考えています。

④ 部署内の結束力を高める

《各部署会議》

各主任が毎月1回以上、所属員を招集し部署会議を開催しました。施設長出席のもと、予定、計画の確認や部署内の目標管理を行ったり、各種情報の共有を進めました。各主任者は一様に「忙しい中でも継続して開催した意義があった」との評価をしています。

⑤ 組織としての統合

《定例主任者会議》

理事長、施設長、事務局長、各主任が集い毎月1回定例主任者会議を開催しました。組織全体の予定、計画の確認や各部門の目標の進捗状況確認、あるいは法人の方針を共有するとともに、「自分たちがこれから目指す姿はどうあるべきか?」「風とおしの良い職場とは何か?」「私たちはどんな価値観を大切にし

なければならないか？」など、過去の振り返りやそのフィードバックを得た上で将来のビジョン形成について対話を交わしています。尚、衛生委員会と虐待防止検討委員会を一体的に運営してきました。

⑥ 『規範』と『多様な価値観』

職員による「一人ひとり考え方が違うのだから仕方がない」という言い訳を簡単に認めませんでした。管理者である施設長が組織の方針を明示し、組織方針に反する行いや判断を是正指導しています。

以前に比べて、無責任で自分勝手、自分に都合のよい判断や行動をする職員が少なくなったと考えています。

Ⅱ 経営と実践を分断させないこと

《情報の開示と共有》

経営状況はもとより、理事会で決議された議案及びその内容について職員にも開示しています。その他、津和野町介護事業所統合検討委員会などの協議内容についても、公開が許される範囲のものについては内部公開することで、職員と役員の情報共有を図ってきました。

《にちはら福祉会職員会議》

事業計画の周知や外国人技能実習生の紹介などのため、にちはら福祉会職員会議を開催しました。

事業部門

1 【介護老人福祉施設】【(介護予防) 短期入所生活介護】 星の里

① 人権と尊厳に向き合う

基本的人権を尊重し、入所者一人ひとりの尊厳が輝くような支援を目指しました。

○家族などとの面会

感染症対策など諸般の事情に最大限の配慮をした上で、家族の方には直接面会をお勧めしてきました。

	直接面会	WEB面会（ZOOM）
特別養護老人ホーム星の里	453 件	37 件

○外出及び外泊

本人の希望による外出や外泊の支援を行ってきました。

	外出	外泊
特別養護老人ホーム星の里	7 件	4 件

○参政権の行使

衆議院が解散され国政選挙が実施されたため、投票を希望された方に対し参政権行使に係る支援を行いました。（事業所内に投票所を設置し、期日前投票を行いました。）

	衆議院議員選挙（期日前投票）
特別養護老人ホーム星の里	17 人

② 自立支援の推進

- ・排泄ケアにおいて排泄委員会を中心に排泄の自立支援にかかる取組を進めてきました。
- ・食事について、その形態をより常食に近づける工夫をしてきました。
- ・全入所者に食事の際は食堂で食事を摂っていただきました。
- ・買い物の希望がある入所者は地域のスーパーマーケットでの買い物支援を行ってきました。

③ インフォームドコンセントの推進

入所申込時の説明① 介護計画の説明、同意② 支援若しくは介入前の声掛け、説明、意思確認③

まず、入所申込時の説明については生活相談員が主に担っています。生活相談員が懇切丁寧に説明を行ってきたこともあり、入所申込者からの特段の苦情や問い合わせは皆無です。

次に、介護計画の説明、同意については入所者がサービス担当者会議に参加したケースは1件でした。家族や成年後見人等の同意はすべて得られていますが、7年度はその件数を増やすことを目指していま

す。

最後に、スタッフによる利用者への支援前の声掛けや説明、意思確認については、以前に比べて確実に実施されているように評価しています。また、居室等への入退室時のあいさつも頻度、質とも上がってきたように評価しています。

④ ホームであること

明るく家庭的な雰囲気をもって、入所者に対するように職員一同努めてまいりました。

⑤ プライバシーの保護と秘密保持

特定の入所者の情報を事業所外で漏洩させた事案が発生しました。秘密保持や個人情報保護を踏まえ、当該事案については虐待防止検討委員会でも取り上げ、全体に周知と指導を図ることで再発防止に努めました。

⑥ 感染症対策

P16～17 を参照ください。

⑦ 非常災害対策

消防機材点検を年2回行いました。

危機管理部会・委員会を中心にBCP等の見直しと消防避難訓練の実施計画を立てています。消防避難訓練については年2回行っています。

⑧ 報連相と周知・理解の徹底、情報の共有の推進

各種会議やミーティングを通じて方針や情報の周知共有を図りました。職員に理解が及んでいない場合は何度でも施設長から説明を行っています。

報連相については、以前に比べると格段の進歩があったように評価しています。

⑨ OJTの質の向上

OJTの指導技術を高める教育を展開することが十分にできませんでした。次年度は教育体系の中に組み込んでその質の向上に取り組むたいと考えています。

⑩ 来客等への対応力の向上

職員一同、来客対応の水準は一般的に「問題ない」水準になっていると思います。来客対応から特段の苦情や問題が起こることもありませんでした。

⑪ 指揮命令系統の維持

事業所運営にあたり、施設長による一元的管理がほぼできてきたと評価しています。一部職員には指揮命令系統やガバナンス体制、その意味を理解できていない者も見受けられますが、問題行動が見られた都度、施設長より指導を行ってきました。

⑫ 業務の再編成

介護室では夜勤体制を見直すなどムダをなくす取組を進めてきました。勤務形態の変更にもようやく慣れてきたものと思われます。その他、各部門単位で業務改善のための工夫をしてきました。詳細はP5～P6を参照ください。

【指標の振り返り】

令和7年3月31日現在

介護老人福祉施設（定員 50 人）	目安指標	実績指標
平均利用率	90%	87%
延べ利用者数	16,425 人	15,877 人

入所申込者数	34 人
--------	------

（介護予防）短期入所生活介護 （定員 5 人）	目安指標	実績指標
平均利用率	85%	79%
延べ利用者数	1,552 人	1,449 人

施設サービス、短期入所サービスともども目安とした指標には到達しませんでした。

原因は、施設サービスについては年間の退所者数が24人と、過去最多の人数を記録したことと、新型コロナウイルス感染症が2度にわたって流行したことなどが挙げられます。さらに、入所希望者数も以前に比べて大幅に減ってきました。また、入所の案内に際して逡巡され、結果として断られる方も目立つようになってきました。

一方、短期入所サービスについてはそもそもの目安の指標設定が高すぎたように感じています。仮に感染症の流行がなければ、利用率80%はクリアできていました。

2 【地域密着型通所介護】【通所型サービス】にちはらデイサービスセンター

① 社会的孤立感の解消、エンパワメントを念頭に置いた支援

レクリエーションに積極的に取り組む利用者が増えてきました。また、職員もレクリエーション支援を前向きにとらえ改善を繰り返しました。レクリエーションに楽しさとやりがいを見出して利用される方が増えてきたことは、職員の努力と工夫の賜物だと評価しています。

② レスパイトケアの促進

年度途中で町内の通所事業所が休業されました。多くの利用者にとって利用先が落ち着かない状況が続きましたが、にちはらデイサービスセンターでは積極的な受け入れを行いました。少しでも多くの利用者が利用されることで、十分とは言えないかもしれませんが、この地域の家庭の介護力維持に貢献できたと考えています。

③ こころの荷物をおろせる場所、あたたかさとしきさ

利用者にとって、落ち着き、あたたかさ、しきさを感じられるように職員一同、親しみの中にも礼儀をもって利用者に接してきました。

④ 感染症対策

職員や一部利用者に感染が確認されたものの、まったく拡大することなく封じ込めることに成功しました。家族、関係諸機関との緊密な連携と早め早めの対応が功を奏したと考えています。

⑤ 非常災害対策

消防機材点検を年2回行いました。

危機管理部会・委員会を中心にBCP等の見直しと消防避難訓練の実施計画を立て、年2回行っています。同会議には、津和野町の防災担当者に立会いただきました。

⑥ 報連相と周知・理解の徹底、情報の共有の推進

所長と主任の間で緊密な連絡体制を保持し、感染症対策を含め、あらゆる状況に対して適切な報連相のもと適切に対処できたものと評価しています。

⑦ OJTの質の向上

OJTの指導技術を高める教育を展開することが十分にできませんでした。次年度は教育体系の中に組み込んでOJTの質の向上に取り組みたいと考えています。

⑧ 来客等への対応力の向上

職員一同、来客対応の水準は一般的に「問題ない」水準になっていると思います。来客対応から特段の苦情や問題が起こることもありませんでした。

⑨ 指揮命令系統の維持

事業所運営に当たっては、職員の恣意的な判断によらず、所長の指揮命令のもと業務が運営されるようになったと評価しています。

【指標の振り返り】

令和7年3月31日現在

地域密着型通所介護・通所型サービス (合計定員 18 人)	目安指標	実績指標
平均利用率	75%	80%
延べ利用者数	3,483 人	3,719 人

にちはらデイサービスセンターではほぼ 20 年ぶりの利用率 80% 越えの実績をマークしました。より多くの通所サービスを利用すべき方が利用できたという事実は、困ったとき、いざとなったら公的介護サービスを利用できるという、介護保険本来の姿を維持することに貢献できたと考えています。

先述もしていますが、長年、この地域で運営を続けてこられた介護事業所が休業されました。そのような中、当該事業所を利用されていた通所介護ニーズがある方にご利用いただくために最大限の受入れを行ってまいりました。そこに、にちはらデイサービスセンターの能力の限りを尽くした自負こそあるものの、果たして利用希望者全員の量的な希望に十分に応えられたかという疑問も残ります。

おそらく、これから先も町内で同様の事態が訪れることは想像に難くありません。そのようなときには介護難民の発生を防ぎ、地域包括ケアを維持しなければなりません。そのような事態に対応できる体制を一刻も早く整えるべく、保険者や他の事業者と協調し、今後の最優先の検討課題として取り組まなければならないものと考えています。

特別養護老人ホーム星の里 利用実績表（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）

	合計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
稼働日数	365	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
平均利用者数	43.5	41.8	42.9	43.5	44.3	44.5	40.3	44.0	44.9	45.7	44.8	43.9	41.3
月初在所者数	563	46	46	47	44	46	45	47	49	48	48	49	48
新規入所者数	21	2	3	1	2	2	3	3	1	2	1	0	1
居宅	6	1	3	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
医療機関	4	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0
介護施設	8	0	0	0	0	1	1	2	1	1	0	0	1
社会福祉施設	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
退所者数	24	2	2	4	0	3	2	0	2	2	0	1	6
居宅	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
死亡	23	2	2	4	0	3	2	0	2	2	0	1	5
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末在所者数	560	46	47	44	46	45	46	49	48	48	49	48	44
利用実人数	-	45	47	45	46	46	47	48	48	50	48	47	45
要介護 1	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	-	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	3	3

	合計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
要介護 3	-	10	11	10	12	12	14	13	13	11	11	10	8
要介護 4	-	15	17	17	17	15	15	19	19	23	21	22	21
要介護 5	-	18	17	16	15	16	16	14	14	14	14	12	13
利用延べ人数	15,877	1,254	1,331	1,305	1,374	1,380	1,208	1,364	1,347	1,417	1,389	1,229	1,279
平均要介護	4.0	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	820	60	62	60	62	93	60	62	60	62	62	84	93
要介護 3	3,797	279	266	300	364	336	334	373	372	330	328	267	248
要介護 4	6,170	429	508	493	508	462	406	518	495	619	620	542	570
要介護 5	5,090	486	495	452	440	489	408	411	420	406	379	336	368
実入院者数	-	6	6	5	2	5	11	7	5	5	8	8	10
延べ入院者数	1,235	106	100	95	29	55	150	116	112	81	117	122	152
実外泊者数	-	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0
延べ外泊者数	28	0	0	0	15	10	0	0	3	0	0	0	0
構成比 (%)													
要介護 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
要介護 2	5.2	4.8	4.7	4.6	4.5	6.7	5.0	4.5	4.5	4.4	4.5	6.8	7.3
要介護 3	23.9	22.2	20.0	23.0	26.5	24.3	27.6	27.3	27.6	23.3	23.6	21.7	19.4
要介護 4	38.9	34.2	38.2	37.8	37.0	33.5	33.6	38.0	36.7	43.7	44.6	44.1	44.6
要介護 5	32.1	38.8	37.2	34.6	32.0	35.4	33.8	30.1	31.2	28.7	27.3	27.3	28.8
男性	6.4	7.6	7.5	6.9	6.8	6.7	6.5	8.9	7.6	4.3	3.5	5.8	4.8
女性	93.6	92.4	92.5	93.1	93.2	93.3	93.5	91.1	92.4	95.7	96.5	94.2	95.2

（介護予防）短期入所生活介護事業所星の里 利用実績表（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）

	合計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
稼働日数	365	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
平均利用者数	4.0	3.9	3.9	4.0	4.0	3.5	3.6	3.7	4.5	4.0	4.1	4.1	4.2
月初在所者数	41	4	2	5	4	3	4	3	4	5	2	2	3
新規入所者数	242	18	21	18	19	16	16	22	24	20	24	18	26
退所者数	244	21	17	20	19	15	17	22	23	22	24	17	27
月末在所者数	40	1	5	5	3	4	4	3	4	2	3	3	3
利用実人数	-	17	18	20	17	13	13	17	16	18	19	15	19
要支援 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
要支援 2	-	2	2	2	1	2	1	1	1	-	1	1	1
要介護 1	-	4	3	5	5	2	4	6	7	6	7	5	8
要介護 2	-	5	9	9	6	5	5	7	5	7	6	5	7
要介護 3	-	4	2	4	5	4	3	3	3	5	5	4	3
要介護 4	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
要介護 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
利用延べ人数	1,449	118	122	120	125	109	108	115	134	125	127	115	131
平均要介護	2.0	2.2	2.2	2.0	2.1	2.0	2.0	2.0	1.9	2.1	2.0	1.9	1.9
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	80	9	10	8	6	18	7	2	3	0	4	10	3
要介護 1	243	17	7	14	18	5	16	22	42	22	25	19	36
要介護 2	766	56	72	71	63	55	60	66	61	71	67	60	64
要介護 3	325	17	17	27	38	31	25	25	28	32	31	26	28
要介護 4	35	19	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	合計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比 (%)													
要支援 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
要支援 2	5.5	7.6	8.2	6.7	4.8	16.5	6.5	1.7	2.2	-	3.1	8.7	2.3
要介護 1	16.8	14.4	5.7	11.7	14.4	4.6	14.8	19.1	31.3	17.6	19.7	16.5	27.5
要介護 2	52.9	47.5	59.0	59.2	50.4	50.5	55.6	57.4	45.5	56.8	52.8	52.2	48.9
要介護 3	22.4	14.4	13.9	22.5	30.4	28.4	23.1	21.7	20.9	25.6	24.4	22.6	21.4
要介護 4	2.4	16.1	13.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
要介護 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性	15.7	9.3	13.1	19.2	20.8	13.8	10.2	17.4	19.4	20.0	18.1	9.6	16.0
女性	84.3	90.7	86.9	80.8	79.2	86.2	89.8	82.6	80.6	80.0	81.9	90.4	84.0

にちはらデイサービスセンター（地域密着型通所介護） 利用実績表（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）

	合計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
稼働日数	257	22	23	20	23	22	21	23	21	21	20	20	21
月初登録者数	1,057	81	83	85	86	86	87	87	89	91	92	95	95
開始利用者数	17	3	0	3	0	1	0	2	1	2	3	0	2
利用実人数（地域密着型通所介護）	-	40	40	42	40	41	41	43	38	43	44	41	44
要介護 1	-	24	24	26	25	25	25	25	24	23	26	25	27
要介護 2	-	12	13	12	11	12	11	13	10	14	14	13	14
要介護 3	-	2	2	3	3	3	3	3	3	4	3	2	2
要介護 4	-	1	1	1	1	1	2	2	1	2	1	1	1
要介護 5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
利用延べ人数（地域密着型通所介護）	3,067	247	254	242	268	260	250	279	227	255	257	257	271
平均要介護	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
要介護 1	2,044	165	176	166	190	177	172	196	152	148	162	165	175
要介護 2	786	64	62	56	62	62	54	61	53	79	81	75	77
要介護 3	179	12	12	17	12	17	16	18	19	17	10	14	15
要介護 4	57	5	4	3	4	4	8	4	3	11	4	3	4
要介護 5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
送迎（迎え）	3,023	240	245	240	266	253	248	277	226	254	255	251	268
送迎（送り）	3,011	238	248	240	265	256	248	275	222	244	254	254	267
食事	3,060	242	254	242	268	260	250	278	227	255	256	257	271
一般入浴	2,702	217	224	223	241	232	216	239	196	218	229	230	237

にちはらデイサービスセンター（総合事業通所型サービス） 利用実績表（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）

	合計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
稼働日数	257	22	23	20	23	22	21	23	21	21	20	20	21
月初登録者数	284	20	22	21	21	21	22	23	24	26	28	28	28
開始利用者数	10	0	2	1	0	0	1	1	1	2	2	0	0
利用実人数（通所型サービス）	-	9	11	9	9	9	10	9	9	11	12	12	14
要支援 1	-	2	4	2	2	2	3	4	3	4	6	6	6
要支援 2	-	7	7	7	7	7	7	5	6	7	6	6	8
利用延べ人数（通所型サービス）	662	55	68	50	60	49	59	49	46	49	52	58	67
要支援 1	147	6	15	5	8	4	9	14	11	11	20	21	23
要支援 2	515	49	53	45	52	45	50	35	35	38	32	37	44
送迎（迎え）	661	54	68	50	60	49	59	49	46	49	52	58	67
送迎（送り）	660	54	68	50	60	48	59	49	46	49	52	58	67
食事	661	54	68	50	60	49	59	49	46	49	52	58	67
一般入浴	517	49	56	36	45	33	45	34	34	39	44	47	55